

昭和58年度 和歌山県文化奨励賞

う え とし かつ
宇 江 敏 勝

住 所：和歌山県西牟婁郡中辺路町

出 身 地：三重県尾鷲市

生 年：昭和12年

◎業績及び経歴

「成人して私もまた、炭焼きになった。時代は、エネルギー革命が進行し、木炭の需要は激減する。私は窯の火を消し造林事業の労働者に転じた。仕事の内容は変わったけれども、山のなかで暮らすということ……………」(「山びとの記」)の序章で語っているように、氏は昭和31年、熊野高校卒業後、父の炭焼きの手伝い、その後植林労務で山小屋を転々と移動しながら執筆活動を続け、20才のときから関西の同人誌「VIKING」に参加、近年は果無山脈を中心とする紀南の山々、山村を舞台に体験から生まれた自然と人間のかかわり、又、自然保護、動物の生態系を描き、エッセーや小説として作品を発表、好評を得ている。

又、今後は熊野川流域に僅かに残る「筏師」の経験者を山仕事の合間をぬって訪ね、その労苦を取材しながら過去の「筏師」の実態を描いていきたい。と語る、山村労働者作家である。

著書に「山びとの記」「山に棲むなり」「山びとの動物誌」などがある。